

PSソリューションズ株式会社

Oracle Cloudベースの新サービス開発に向け ORACLE MASTER Cloud資格をいち早く採用

 PS Solutions

ソフトバンクで培った技術で Oracle 製品に関するサービスを展開

ソフトバンクの情報システム部門の一部が独立し、2010年9月に設立されたPSソリューションズ。「情報革命で人々を幸せに」というソフトバンクグループの企業理念に基づき、通信キャリア業界で培った経験と技術を生かし、ITソリューション、ITアウトソーシング、海外マーケティングの大きく3つの事業を展開している。

事業の一環として、IoT分野では、センサーデータに基づき精密農業を身近にする「e-kakashi」や香川県豊島で展開するレンタルバイク／レンタサイクル事業「瀬戸内カレン」を、店舗ソリューション分野では、スマホで手軽に使える会員カードアプリ「CLIPPER」を提供するなど、幅広い分野で新しいITサービスを生み出し続けている。

またITソリューション事業では、Hadoopソリューションサービス、Red Hat製品ソリューションサービス、Oracle製品ソリューションサービスを推進。中でもOracle製品に関しては、日本オラクルのオフィシャルパートナーとして、ソフトウェアライセンスの販売からサポートまで、24時間365日のサービスを提供している。

エンタープライズ事業本部 事業推進部 部長／チーフテクニカルエンジニアの飯泉卓也氏は、「PSソリューションズの強みは、ソフトバンクの情報システムで培った技術力を活かしたOracle製品に関する各種サービスを提供できることです。高い技術力の裏付けとして、オラクル認定資格で国内トップクラスの保有者

Oracle 製品の販売からサポートまで、ワンストップでサービスを提供する PSソリューションズ株式会社（以下、PSソリューションズ）。日本オラクル株式会社（以下、日本オラクル）のパートナーとして、すでに10名のエンジニアがORACLE MASTER Platinumを取得しているが、2016年6月に新たな資格としてリリースされた「ORACLE MASTER Cloud認定資格」を構成する2つの認定資格「ORACLE MASTER Cloud Oracle Database Cloud Service」および「ORACLE MASTER Cloud Oracle Java Cloud Service」の取得にいち早く取り組んでいる。

数を有しています。」と語る。

PSソリューションズでは、オラクル認定資格の最上位資格である「ORACLE MASTER Platinum Oracle Database」をはじめとする資格保有技術者の育成を、現在も計画的かつ継続的に実施している。その成果の1つとして、Oracle認定資格取得者が多い企業を表彰する「Oracle Certification Award 2016」の1社にも選定されている。

最小限の負担でOLTPに最適な 環境を導入できる 「Oracle Cloudスタートアップ」

そんなPSソリューションズが2016年11月より提供を開始したのが、Oracle Cloud Platformをベースとした新サービス「Oracle Cloudスタートアップ」だ。Oracle Cloudスタートアップは、クラウド導入時の設計、構築を自動化し、エンドユーザーのシステム担当者が1人で簡単かつ短期間にOracle Public Cloudを導入できるサービスとなっている。

飯泉氏は、「オンプレミスでOLTP環境を構築する場合、サーバーを調達し、設計、構築、チューニングなどの作業が必要です。クラウドでも、仮想サーバーは容易に確保できますが、その後の設計や構築ではSIが必要となります。Oracle Cloudスタートアップは、予めOLTPに最適な設計およびチューニングが施されている為、設計や構築といった従来までのSIは不要であり、短期間でOracle Public Cloudの導入が可能です。」と、その有用性を説明する。

Oracle Cloudスタートアップの開発にあたりPSソリューションズでは、担当

エンジニアに対し、2016年6月にリリースされたばかりの新しいオラクル認定資格「ORACLE MASTER Cloud認定資格」の取得にいち早く取り組んでおり、すでに多くのエンジニアが「ORACLE MASTER Cloud Oracle Database Cloud Service」および「ORACLE MASTER Cloud Oracle Java Cloud Service」の両方の資格を取得している。

「私自身も2016年6月～7月で、ORACLE MASTER Cloud認定資格を取得しました。2014年春にORACLE MASTER Platinum Oracle Database 11gを取得しており、Oracle DatabaseやOracle WebLogic Serverの知識があったので、特に苦勞することなく取得できました。クラウドに特化した内容も、Oracle Cloudの検証作業で習得できました。」（飯泉氏）。

ORACLE MASTER Cloud認定



PSソリューションズ株式会社
エンタープライズ事業本部 事業推進部
部長／チーフテクニカルエンジニア

飯泉 卓也氏

資格の取得を決めた背景を飯泉氏は、「Oracle Cloudスタータパックの開発に向け、Oracle Cloudの検証を行っていたので、ちょうど良いタイミングでした。ORACLE MASTER Cloud認定資格を取得するには、Oracle製品の基本的な技術の勉強も必要なので、ORACLE MASTER認定資格を持っていたのは有利でした。今後はオンプレミスと合わせてクラウドの需要も益々増加することが予想される為、ORACLE MASTER認定資格と合わせてORACLE MASTER Cloud認定資格を取得することが重要だと感じています。」と話している。

Oracle Universityが提供する 充実の教育プログラムを評価

Oracle Cloudスタータパックは、PSソリューションズが提供するクラウドサービスの第1弾である。さらに第2弾として、運用をもっと簡単にするサービスの提供を計画中だという。飯泉氏は、「Oracle製品を導入したソフトバンクのシステム運用で培った経験やノウハウを生かし、もっと簡単に使えるIT環境を開発、提供していきたいと思っているのです。」と、自社のビジネス展望を語る。

「私たちのお客様は情報システム部の担当者が多いので、営業でも、プリセールスでも、技術を知らなければ話になりません。技術の裏付けとしても資格取得

は重要です。今後、ミッションクリティカル分野にもクラウドが採用される機会が増えると考えます。そのため、ORACLE MASTER Cloud認定資格の重要性はますます高まるでしょう。」(飯泉氏)

今後の人材育成に関してPSソリューションズでは、ORACLE MASTER Cloud認定資格はもちろん、ORACLE MASTER認定資格の取得も推進していく計画だ。飯泉氏は、「ORACLE MASTER Cloud認定資格およびORACLE MASTER認定資格は、ほかの認定資格に比べ、Oracle Universityで提供される教育プログラムが体系的に整理されており、研修内容が充実しているのが優れた点です。」と評価する。

飯泉氏は、「資格を取得するにはさまざまな知識の習得が必要になるため、若いエンジニアが成長していくためのマイルストーンとして非常に有効です。資格の取得が目的ではなく、取得後にどのように成長していくかを定める指標にしてほしいですね。資

格の取得が自分自身のステップのための良いモチベーションになるはずです。」と、これから資格取得を目指す人へエールを送ってくれた。

PROFILE

PSソリューションズ株式会社

2010年9月に設立され、ソフトバンクの情報システム構築や運用などで培った技術力を生かし、ITソリューション事業、ITアウトソーシング事業、海外マーケティング事業を展開。新しいクラウドサービスの提供にあわせ、2016年6月に提供が開始されたばかりのORACLE MASTER Cloud認定資格をすでに取得。ORACLE MASTER認定資格の取得にも積極的に取り組んでおり、10名のエンジニアがORACLE MASTER Platinumを取得している。



認定資格の取得の知識を生かし、顧客に“安心感”を提供する

「以前は、ハードウェアやOSを専門とするエンジニアでした。そのため、Oracle Databaseは、インストールをしたことがある程度で、チューニングや実運用に関してはほとんど経験がありませんでした。」と話すのは、エンタープライズ事業本部 事業推進部の多部田直人氏だ。

現在、Oracle製品の新機能やリプレイスの最適な構成、その方法などを顧客に提案するプリセールスの仕事に携わっている多部田氏は、Oracle Cloudスタータパックの開発に携わったのを機に、ORACLE MASTER Cloud Oracle Database Cloud Service、およびORACLE MASTER Cloud Oracle Java Cloud Serviceの両方の認定資格を取得した。

多部田氏はORACLE MASTER Cloud

認定資格の取得について、「Oracle DatabaseやJavaの知識が前提として必要なので、データベースとJavaの知識を習得するための勉強に苦労しました。さらにクラウドの知識も必要で、Oracle Cloudの検証作業を活用するなど、効率的に学習できる工夫をしました。」と当時を振り返る。

また、多部田氏は「Oracle Cloudスタータパックの提供にあたり、資格の取得で修得した知識を生かし、お客様により具体的な提案ができと思っています。これにより、お客様に“安心感”を提供できます。今後は、より幅広い提案を行うことができるようORACLE MASTER Oracle Databaseを取得する必要性を感じています。」と、ORACLE MASTER Cloud認定資格を取得した効果と今後の目標を語ってくれた。



PSソリューションズ株式会社
エンタープライズ事業本部 事業推進部

多部田 直人氏

日本オラクル株式会社

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-3-13 赤坂センタービルディング12F
oracle.com/jp

オラクルユニバーシティ
お問い合わせ窓口

ORACLE
UNIVERSITY

TEL 0120-155-092

URL <http://www.oracle.com/jp/education>